

平成二十四年二月六日提出  
質問第四六号

外務省が中国政府に出した「口上書」に関する質問主意書

提出者 浅野 貴博

外務省が中国政府に出した「口上書」に関する質問主意書

一 北京市にある我が国の新大使館の移転を巡り、当初の建築計画との違い等を理由に、中国政府からなかなか許可が得られなかったというトラブルが生じていたと承知するが、右の経緯につき、詳細を明らかにされたい。

二 一に関し、中国側が我が国の新大使館の移転を認めなかった理由は何か。また右の理由は正当なものであるか。政府、外務省の見解如何。

三 新聞報道等によると、外務省は、本年一月二十一日、在中国新大使館移転の許可が中国側から下りる直前に、中国側に対し、我が国国内における中国総領事館の移転に協力する旨約束した「口上書」を提出したとのことであるが、その詳細な内容を明らかにされたい。

四 「口上書」は誰によって作成されたのか、その官職氏名を明らかにされたい。

五 「口上書」に関する決裁書は作成されているか。作成されているのなら、それは政府部内のどこに保管されているのか。

六 「口上書」に秘密指定はかけられているか。

七 過去に外務省として、我が国における在外公館の移転、建設に関し、または他の事例に関し、「口上書」と同類のものを他国に提出した事例はあるか。

八 七で、そのような事例があるのなら、それらを全て挙げられたい。

九 今次の我が国の在中国新大使館の移転は、「口上書」を提出したことで初めて認められたものであるのか。

十 今次外務省が「口上書」を中国側に提出したことは、今後我が国の対中外交において悪しき前例となり得るのではないのか。

右質問する。